

## 『保安力評価のポイントと適正な保安活動を行うための講習会』

主催 安全工学会・保安力向上センター／化学工業日報社

「保安力評価」は、事業者が自主的に安全基盤と安全文化を評価し、長所短所を把握して、改善を進める取り組みです。安全工学会は「保安力評価」の普及を目的に 2013 年“保安力向上センター”を設立、評価基準、判定基準を策定し、事業所の評価を進めてきました。今回開講する“保安力向上推進人材育成講座”は、センターの活動成果に基づいた実践手法を体系的に学習できるプログラムです。5 月のオープンセミナーを皮切りとした、第 2 回以降の(全 5 回、毎月)の講座では、保安力自己評価者の育成に加えて、安全工学会が経済産業省の受託事業で策定した「現場保安力評価マトリックス」※を会員外の方々が有効的に活用することも可能となります。

※事故発生、拡大防止に向け、保安力評価項目を活用した定量的なチェックリストです。

<開催要項>

### 【受講料】

第 2 回～6 回の保安力講演会について

100,000 円＋税(保安力向上センター支援会員、普及会員(全 5 回))

受講者は現場の工程や作業に習熟していることが望まれます。

演習は以下の内容で、5、6 人のグループで実習を進めます。講習会の前に実習の説明資料を送付します。

- ①安全基盤、安全文化の基礎と、評価項目の構成や判定基準について解説します。
- ②演習では、安全基盤、安全文化の小項目を選び、判定の考え方、評価方法を説明します。
- ③グループごとにリーダーを選出いただき、リーダーが自社の工程を想定して、一定の小項目について評価します。それをたたき台として、想定評価した結果を持ち寄り、意見交換します。
- ④意見交換の結果をグループごとに発表いただき、センター評価方法、結果の取り扱いについて解説します。意見交換では複数のセンター評価員が待機しており、いつでも質問いただけます。
- ⑤講習時間内で理解しきれなかった疑問点については、文書で質問いただけます。

### 2015 年 6 月 26 日(13 時-17 時)

- ・プロセス安全技術 システム安全研究所 高木所長
- ・安全基盤項目の説明 清水健康(旭化成 環境安全部 部長)
- ・保安力の模擬評価(安全基盤)の実践(1)  
実習指導 清水健康、臼井修(元三井化学)、紙本孝雄(元出光興産)

### 2015 年 7 月 17 日(13 時-16 時半)

- ・保安力模擬評価(安全基盤)の実践(2) 事前評価結果に基づくグループ討議
- ・評価結果の講評と意見交換  
実習指導 清水健康、臼井修、紙本孝雄

**2015年8月21日(13時-17時)**

- ・産業における安全文化 慶応大学 高野教授
- ・保安力評価項目(安全文化) 岩田稔(元出光興産)
- ・保安力模擬評価(安全文化)の実践(1)

実習指導 岩田稔、大久保元(組織安全研究所)、東瀬朗(慶応大学)

**2015年9月25日(13時-16時半)**

- ・保安力模擬評価(安全文化)の実践(2) 事前評価結果に基づくグループ討議
- ・評価結果の講評と意見交換

実習指導 岩田稔、大久保元、東瀬朗

**2015年10月16日(13時-16時半)**

- ・保安力評価の実施と評価に基づく改善事例 保安力評価推進委員(支援会員)
- ・現場保安力マトリックス 若倉(センター, 産業技術総合研究所)
- ・修了証授与

**【お申し込み先】**化学工業日報社 企画局 平野

〒103-8485 東京都中央区日本橋浜町3-16-8

TEL: 03-3663-7936 FAX:03-3663-7861

Email: ta\_hirano@chemicaldaily.co.jp